

第4次長久手市環境基本計画 基本方針

■環境に関する将来像■

自然と環境にこだわり、くらしの安心や健康、幸せや豊かさを実感できる。
環境を通じて、地域、自然、世界とつながる物語が生まれる。

第6次長久手市総合計画の将来像

『幸せが実感できる共生のまち長久手』 ～そして、物語が生まれる～

■「第4次長久手市環境基本計画」の期間■

○2050年を見据えて、2030年までの10年間に実施・着手することを記載する。
まず2050年頃の目標を定め、途中経過としての2030年の目標を別途設定する。

	2050年頃の目標	具体的行動の方向性
A. 脱炭素のくらしと地域づくり	長久手市での活動に起因する温室効果ガスの排出をゼロにする	A-1 エネルギー使用量を減らす
		A-2 再生可能エネルギー・水素エネルギーに転換する
		A-3 脱炭素の住まいやまちをつくる
B. 循環型のくらしと地域づくり	長久手市での活動に起因する廃棄物をゼロ、埋立て処分をゼロにする	B-1 ごみを出さない、捨てない
		B-2 物を大切に使う、使えるものを再利用する
		B-3 資源として再生する
		B-4 適切に処理する
C. 自然共生のくらしと地域づくり	長久手の生物多様性を維持・回復し、くらしにおける持続的利用を可能にする	C-1 在来種を大切にする
		C-2 緑・自然を増やす、育む
		C-3 自然を活かして暮らす
D. 安心・安全のくらしと地域づくり	安心・安全で健康的に暮らすことができる環境を守る	D-1 みんなの生活環境を自分たちで守る
		D-2 気候の変化への適応を考える
E. 環境にこだわる人づくり・地域づくり	「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」「安心くらし社会」を支える市民や地域を育成する	E-1 みんなが知る、考える、危機感を意識する
		E-2 環境教育・体験学習を推し進める
		E-3 環境をシティプロモーションやシビックプライドに活用する
		E-4 大学・事業所と連携する 広域的に連携する